

苦戦を強いられている。何と言ってもやはり立ち合いが鍵と見られたが、立ち合いはまったくの五分。両者差し手争いの攻防から正面に寄り立てる若ノ嶋。そこを時計回りに回り込んだ魁電が上手をのど元に伸ばし切ると、若ノ嶋こらえきれず押し倒しに敗れてしまった。



魁電○(下手投げ)●若ノ嶋

「あ、若ノ嶋負けたか」と鹿賀乃戸審判長「横綱が七日目で4敗じゃ休場もありかもな、佐賀ノ海も全敗だしね」と心配する朝日松理事長。しかし黒星先行したとはいえ、残り全部勝てば7勝の目もまだ残されているわけで、そこは親方の判断に委ねられるところである。

前日千代鈴との1敗対決を制した大神楽は美空富士戦。今場所は美空富士に昇進した時のような力強い相撲を見せたりもできない。再々の大関取りもかかない。勝負は立ち合いかからず左を差した大神楽が難なく正面土俵に寄り切った。これで1敗を守った先頭。これに並び、久々の優勝の二文字も見えてきた。このまま1敗で優勝ということにでもなれば一気に大関という声も上がって来るかもしれない。



美空富●(寄り切り)○大神楽

千代鈴と佐賀ノ海の大関対決は千代鈴が難なく寄り切りで下して2敗をキープ。佐賀ノ海は先場所負傷したかわり、足の状態が思わしくないのか、白星からはほど遠い感じだ。千代鈴も負ければ優勝争いから後退となった。ただ、2敗で踏みとどまったのは大きい。



佐賀海●(寄り切り)○千代鈴

小結の出羽翼が佐賀ノ海、白閃光に連勝して5勝目をあげ勝ち越しにリーチをかけた。これまでに三役以上に上がったが、なかなか勝ち越しには至らず上位の壁に跳ね返されてきただけに、「三役に定着して欲しいんだけどね。」との親方の願いにそろそろ応えたいところだろう。

勝間田部屋では他にも鉄甲、雪若丸、鳥海波が2敗を守り、とりあえずは優勝圏内にとどまった。仮に八日目、九日目も白星を重ねるようなら、割担当の友砂親方の目がキラリと光ることは間違いないところだ。

西十三枚目の源氏丸が龍不動に敗れて6敗で負け越しが決まり、陥落の瀬戸際に立たされた。残り4日全部勝つしかなくなってきたが元関脇の意地を見せることができるか、正念場となる。

十両は暫と宇治家が1敗堅守

十両も中日、七日目を取り終えて1敗を守った暫と宇治家が先頭に立ち、西神門、若雲山、夢ノ花、渡海の4名が2敗で追う展開となった。

暫は五日目の剣将戦に勇み足の様な不覚を取ったが、中日に調子の上がらない日向藤を七日目には好調の勝川に相撲を取らせない完勝で退けて1敗を守った。

宇治家も四日目の大屋錦以外は連日古豪部の力に覚醒した様相。本来的に勝つべき相手は、決まっていた。七日目には破って1敗をキープ。

西神門は剣将、初戸を破って二枚目にし勝ち越しにリーチをかけ、若雲山は剣竜、冬牡丹と調子が上がらないものの実力者を破り



虎ノ國●(寄り切り)○宇治家



勝ノ川●(寄り切り)○暫

同じく十枚目の夢ノ花も中日には磯白慢に敗れたが英風を降して、渡海も英風、磯白慢の好調力士を退けそれぞれ2敗を守り、先頭の暫、宇治家の後を追う。

筆頭の暫は勝ち越しで来場所の入幕はほぼ間違いなく、宇治家もこのまま白星を重ねていければ入幕も見えてくる。残りの後半戦もその1敗の二人を中心に優勝争いが展開されていきそうだが、若雲山、夢ノ花、渡海の3名は下位だけに上位の3名との直接対決の可能性もあり、まだまだ2敗勢にもたいにチャンスはあると思われる。残り四日の土俵にも熱戦が期待される。 (香具山)

幕下は蛮国らが全勝

幕下は二日目、三日目を取り行われ3連勝で勝ち越しを決めたのは蛮国、磯日ノ丸、茅ヶ崎、鹿麒麟の4名。なかでも蛮国は二枚目での勝ち越しで富士浪部屋から久しぶりの関取をほぼ手の中に、もうひとつ勝って確実にしたいところ。



磯燕●(寄り切り)○蛮国



磯日丸○(押し倒し)●祭ノ城



茅ヶ崎○(寄り切り)●西旭



鹿麒麟○(寄り切り)●小田

全勝力士が4名となり明日の四日目は全勝が千秋楽に優勝をかけて対戦する展開となる。優勝の可能性がなくなった他の力士、特

に上位陣は関昇進を掴むために残り二日目とつても多く白星を重ねたいところだ。果たして蛮国は千秋楽に優勝を争うことになるだろうか。 (香具山)

三段目ノ序の口

三段目での3連勝は鹿の郷、磯若、猿飛、富士の海の4力士。中でも富士の海は優勝候補の富士岳を倒した勢いで三段目昇進の優勝を一気に幕下昇進を狙う。

序二段は自力岳、鹿電馬、難波山、桃天龍が3連勝。2場所目のジंकウスに悩む秋葉原は今場所も折鶴雅、異ヶ浜の星が伸びない中、3場所目を迎えた難波山が3連勝と復調。他の3連勝力士達とも遜色なく、初優勝のチャンスだ。

序の口の3連勝は阿仁、里錦、双歌仙。阿仁は今場所新たに磯ノ海部屋から独立した大熊部屋(元関脇水晶嶽尾里川と名跡交換)の初めの力士。マタギを祖父に持つらしく、その俊敏性に期待が寄せられる。

また播磨屋部の双歌仙が嬉しい3連勝。先場所の新弟子が二人とも2連勝のあと3連敗して負け越し、親方らしく、今場所すんなりと3連勝して勝ち越したのにはかなりの朗報であろう。 (鹿賀戸)



桃乃浜○(押し倒し)●双歌仙



玉剣●(寄り切り)○阿仁



難波山○(寄り切り)●梅野



富士海○(引き落し)●富岳